

金田町人の動き

(4月1日現在)

世帯数 2,515

人口 9,343

男 4,573 女 4,770

出生 7 死亡 4

転入 53 転出 80

かなだ

第 161 号

金 田 町 報

発行所 金田町役場総務課

編集兼 藤 川 義 臣
発行人

印刷所 栗 林 印 刷 所

電話 (09474) ② 0506番

交通安全教室

実施さる

春の交通安全運動期間中の四月十三日、金田小学校の校庭で新入学児童を対象とした交通安全教室が開かれました。

この安全教室は金田町交通安全婦人部会(小野トメ子会長)の主催で毎年行なっているもので金田小学校の新一年生百十七人と父兄が参加して行なわれました。新入学児童たちは、体育館で田川署交通巡視員のお姉さんたちから紙芝居、手品、クイズ等で指導を受けたあと、校庭で実地勉強、ミニ信号機や横断歩道踏切



『手を上げて左右をよく見て渡ろうね』

季節の話題

端午の節句

「端」というのは、はじめという意味ですから、端午といえ、月のはじめの午(うま)の日ということになります。正月の異称を端月といいますが、必ずしも五月のはじめの午の日というわけでもなかったようですが、中国伝来の行事のことですから、漢代以後それにならって五月五日と定められたようです。

と称し、多く牀・薦席を曝すを禁忌し、屋を蓋うを忌む」といって、五月に屋根の修理などすると頭がはげるといったり、とくにこの日に生まれた子どもは、成長してから父母を殺すといった迷信があった、その厄災をはらうための行事でした。

我が国に伝わったのは奈良時代ですが、江戸時代に入ってから端午の節句(せちえ)は尚武の催しとして幕府の年中行事の一つに数

えられるようになりましたこの日、諸大名は江戸に出仕して將軍に祝賀を述べ、ちまきや柏もちを献じたのが習わしだったようです。とくに武家社会では家督相続の遺風から嗣子の誕生を喜び、誕生後、はじめての節句には武者人形を飾って祝い、七才以下の男の子のある家ではコイノボリを立てて喜びを表わしたものです。端午の節句は尚武の催しをするのが習わしですから、どうしても武張ったものが多く、月のヒナ人形とちがって、武者人形は神功皇后、武内宿弥、鐘馗、金太郎などのほかに、太刀やヨロイ、カブトといった武骨なものばかりです。



コイノボリもむかしは家の定紋を染めぬいたり、鐘馗の絵を描いたりしたようですが、現在ではほとんど「鯉」の形に染めあげたもので、川の水を形どった五色の吹き流しとともに立てます。

5月のこよみと行事

和名草月(さつき) 苗を植える月
早苗月をちじめて五月を草月という

- | | | |
|----|---|---------------------------|
| 1 | 日 | メーデー |
| 2 | 日 | 八十八夜 |
| 3 | 日 | 憲法記念日 |
| 5 | 日 | こどもの日 |
| 10 | 日 | 身体障害者巡回相談(小学校体育館)
愛鳥週間 |
| 11 | 日 | 三種混合の予防接種 |
| 14 | 日 | 母の日 |
| 19 | 日 | 乳児検診 |
| 21 | 日 | 町民体育大会 |
| 24 | 日 | 心配ごと相談日 |

軽自動車税

納期限 5月31日